

# 若手研究人材育成事業 若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (タレント補助金)

## 1 応募の要件及び補助金の内容

### ○ 若手研究人材・ネットワーク育成補助金 (通称：タレント補助金) (Promotion for Young Research **Talent** and Network)

#### 【補助金の目的】

北海道の将来を担う研究者の優れた研究開発を支援することで、地域課題の解決や新産業・スタートアップの創出につながる人材育成やネットワーク形成を目的とします。

#### 【対象となる研究者】

北海道内の試験研究機関(大学、民間等)に所属する40才以下の若手研究者

※大学等研究機関の場合、**ポスドク以上(博士研究員・助教・講師等)**を対象とし、基本的に学生は不可とします。

ただし、博士後期課程の学生については、以下のすべてを満たす場合に限り、申請を可能とします。

- ・補助金に係る経理事務を、所属機関の事務局に委任できること
- ・応募について、指導教員等の了承を得ていること(指導教員の指名等を様式3【研究者の詳細】該当箇所に記載)
- ・博士課程修了後も申請研究を継続して実施する意思を有する、又は当該申請研究に基づき将来的に起業を予定していること

#### 【対象となる研究開発分野】

- ①**医学**：健康・医療系分野 ②**農学**：食品・生物生産系分野 ③**化学**：材料・ナノテク系分野  
④**工学**：環境エネルギー・ものづくり系分野 ⑤**情報科学**：コンピューティング・IoT/AI系分野  
⑥**その他の分野**

#### 【補助対象経費】研究の遂行に直接必要な以下の経費

|             |  |
|-------------|--|
| ●原材料・消耗品購入費 | 研究の遂行に直接要する試薬、資材、部品、消耗品、書籍等の購入に要する経費。  |
| ●機器装置費      | 研究の遂行に直接必要な機器・設備類の購入に要する経費。<br>なお、購入した機器設備の所有権は、原則、補助を受けた研究者に帰属します。ただし、研究者の所属機関に寄附することができます。                     |
| ●旅費         | 研究者および本研究を補助する研究補助者が研究に必要な資料・情報収集、各種調査を行うための旅費、研究に要する検討会議、打合せのための旅費、本研究成果を発表するために学会等へ出席する場合の旅費で、当該旅行区間の旅行運賃、滞在費。 |
| ●その他経費      | 上記以外のものであって、研究の遂行に特に必要と認められる経費。例えば、研究補助員賃金、外注費、技術指導謝金、設備使用料、印刷製本費等。  |

※経理処理上当事業に要する経費として区分しがたいもの(既存設備・機械の使用料、水道光熱費等)および、施設等の改造費、交際費、会議費、雑費等の一般管理費的な支出は対象外とします。

※パソコン、プリンタ、コンピュータ周辺機器等の汎用物品は、原則として補助対象外とします。ただし、真に本研究に必要である場合は、事前に理由書(様式任意)を提出し、計上可能かご相談ください。

#### 【実施期間】補助金交付決定の日から2027年3月12日(金)まで

※但し、補助対象経費の執行期限は2027年2月26日(金)までとします。

◆報告書の提出期限：補助事業精算報告書(2027年2月26日)、研究成果報告書(2027年3月12日)

#### 【補助金額】50万円以内 (補助対象経費の10/10)

#### 【採択予定件数】30件程度

#### 【その他】

本補助金は、ノーステック財団の自主財源（1000万円）のほか、札幌市の補助金（研究シーズ発掘補助金：500万円）を財源として活用します。

## 2 応募の手続き及び日程

### 【申請方法】

補助金申込書：様式1～5（ファイル形式Word）のデータを作成し、オンライン補助金申請システムにアップロードして下さい。

※システムのご利用にはアカウント登録（ID・パスワードの発行）が必要です。

### 【システム受付期間】

2026年4月1日（水）～2026年5月11日（月）17：00締切

◆ オンライン補助金申請システムの利用方法は、以下のURLでご確認できます。

<https://www.noastec.jp/support/application-system>

◇ 補助金申込書：様式1～5（ファイル形式Word）は、ノーステック財団のホームページ（<https://www.noastec.jp/content/research-development>）からダウンロードできます。

※E-mail、FAX、郵便・宅配便、及びご持参による受付はできません。

※締切り直前は、補助金申請システムが込み合い、アクセスの制限をする場合がありますので、期限に余裕をもって申請されるようご協力願います。

【お問合せ先】：公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）  
研究開発支援部あて

E-mail：[kenkyu@noastec.jp](mailto:kenkyu@noastec.jp) TEL：011-708-6392

所在地：〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう

## 3 審査及び採択後の手続き等

### 【選定方法】

ノーステック財団による要件審査を経て、ノーステック財団が組織する「審査委員会」において、「事業目的との適合性」及び、次の「評価の観点」から審査の上、決定します。

#### ○評価の観点

- ・北海道の産業に貢献する意欲が高く、かつ独創的な技術シーズを展開する研究者
- ・将来、北海道における産学連携プロジェクト等で中心的役割を担う事が期待される研究者

### 【内 定】

2026年7月下旬を目途に採否を内定する予定です。採否の結果は応募者全員にE-mailで通知します。

### 【採択・公表】

採択された研究計画については、補助金交付決定後、当財団のホームページにて公表（研究開発テーマ名、研究開発の概要など）いたします。

### 【補助金の交付】

採択内定者には、当財団が定める、補助金交付申請書を提出していただきます。詳しくは、内定通知時に改めてお知らせします。

### 【補助金に係る経理】

採択者に配布される補助金交付規程等に従って、補助金を適正に執行していただきます。

補助金の管理責任は研究者が負います。ただし、原則として、補助金に係る経理事務（口座の管理、会計帳簿等への記帳・管理保管、機器設備等財産の取得および管理等）については、研究

代表者から所属機関の事務局に委任していただきます。

## 4 研究開発実施上の留意点等

### 【 報告書等の提出 】

研究開発の終了に当たって以下の報告書を提出いただきます。

◆補助事業精算報告書（2027年2月26日まで）

◆研究成果報告書（2027年3月12日まで）

提出いただく報告書の様式等詳細は、補助金内定通知の際に併せて通知します。

また事業終了後、研究成果に関するフォローアップ活動にご協力いただきます。

### 【 研究成果の公表 】

研究の成果は、公表を原則としております。提出いただいた研究成果報告書は関係各機関等に配布するとともに、当財団のホームページに掲載させていただく予定です。ただし、特許出願などの知的財産戦略上、支障がある場合はお申し出ください。

また、札幌市やノーステック財団が実施する研究成果報告会、セミナー、企業とのマッチングを目的とした意見交換会等で発表していただく場合がありますので、ご協力願います。

### 【 知的財産権の帰属 】

本事業により生じた研究成果は、研究者に帰属しますが、特許権等の知的財産権の取扱については、原則として、所属する大学・研究機関等の規程等に従ってください。

### 【 ネットワークの形成 】

本事業の目的に即して、当財団が実施するネットワーク支援・産学連携・交流会等への参加をお願いすることがあります。ノーステック財団は、若手研究者の交流機会を設け、地域課題の解決や、産学連携・スタートアップの創出に向けたネットワーク作りを進めて参ります。

## 5 ノーステック財団理事長賞の贈呈

本補助金を交付した方の中から翌年度、本補助金の趣旨に合致し、且つ、優秀な研究成果が認められた研究者一名を表彰し、研究奨励金（用途は本補助金の研究経費に限りません）として30万円を贈呈致します。

|      |
|------|
| 整理番号 |
|      |

**2026年度【第33回】ノーステック財団「研究開発助成事業」  
若手研究人材・ネットワーク育成補助金 申 込 書**

本書のとおり研究課題を提案いたします。

**【 応 募 区 分 】**

| 事 業 名      | 補 助 金 名 | 研 究 分 野 <sup>※</sup> |
|------------|---------|----------------------|
| 若手研究人材育成事業 | タレント補助金 |                      |

**【 研究開発テーマ 】**

|                                |         |  |  |
|--------------------------------|---------|--|--|
| 研究開発テーマ名                       | (30字以内) |  |  |
| 研究キーワード                        |         |  |  |
| 研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u> ) |         |  |  |
|                                |         |  |  |

**【 研究者の連絡先 】**

| (フリガナ)<br>氏 名  | 年 齢                           | 所 属 機 関 名 / 役 職 名 |
|----------------|-------------------------------|-------------------|
| (            ) | 歳                             |                   |
| 連 絡 先          | (勤・自) 電話番号 (    )<br>E-mail : |                   |

**【 他の助成制度での実施 (現在申請中のものを含む) の有無 】**

※共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

無     有

実施中     申請中

|        |           |       |  |
|--------|-----------|-------|--|
| 助成機関名  |           | 助成制度名 |  |
| 研究テーマ名 |           |       |  |
| 助成期間   | 年 月 ~ 年 月 | 助成金額  |  |

実施中     申請中

|        |           |       |  |
|--------|-----------|-------|--|
| 助成機関名  |           | 助成制度名 |  |
| 研究テーマ名 |           |       |  |
| 助成期間   | 年 月 ~ 年 月 | 助成金額  |  |

## ◆ 記載要領（様式 1）

### 1. 応募区分

補助金名、研究分野：下記の中から該当する項目を記載してください。

| 事業名            | 補助金名                                    | 研究分野※   |
|----------------|---|---|
| 若手研究人材<br>育成事業 | 若手研究人材・<br>ネットワーク<br>育成補助金<br>(タレント補助金) | <p>①<b>医学：健康・医療系分野</b><br/>薬学、基礎医学、臨床医学、人間医工学、ゲノム科学、健康科学 など</p> <p>②<b>農学：食品・生物生産系分野</b><br/>基礎生物学、農学、農芸化学、水産科学、動物生命科学、農業工学、 など</p> <p>③<b>化学：材料・ナノテク系分野</b><br/>材料化学、ナノ・マイクロ科学、プロセス・化学工学、応用物理学 など</p> <p>④<b>工学：環境エネルギー、ものづくり系分野</b><br/>材料工学、建築・土木工学、機械・電子工学、エネルギー工学 など</p> <p>⑤<b>情報科学：コンピューティング、IoT/AI系分野</b><br/>計算機システム、情報ネットワーク、ロボティクス、バイオインフォマティクス など</p> <p>⑥<b>その他の分野</b>（            ）</p> |

※6分野の中から、最も該当する分野を記載してください。分野がまたがる場合は、最も当てはまる分野から順に記載してください。その他の分野の場合、括弧書きで分野名を記載してください。

### 2. 研究開発テーマ

- (1) 研究開発テーマ名： **30字以内**で表現してください（サブタイトルをつける場合は、それを含めて）。
- (2) 研究キーワード： 4つ程度記載してください。
- (3) 研究開発の概要： 研究開発テーマの詳細をコンパクトにまとめ、**150字以内**で表現してください。

### 3. 研究者の連絡先

- (1) 氏名： フリガナは必ずふってください。
- (2) 所属機関名／役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (3) 連絡先： 日中連絡が取れる連絡先（TEL、E-mail）を記載してください。

### 4. 他の助成制度での実施の有無（共同研究者として参画している場合も含む）

本提案の研究内容と関連性・類似点があると思われるテーマで他の助成制度を実施している場合（既に終了したもの、現在申請中のものを含む）は、その助成機関、助成制度、課題名、期間（予定を含む）、金額を記載してください。

※当財団で採択したものと同一趣旨の研究開発を、他の助成制度で実施している場合は、当財団の採択を辞退していただくことがあります。

( 様式2 )

**【 研究開発テーマの詳細 】**

|                |
|----------------|
| 研究開発テーマの背景及び目的 |
| 関連する研究分野の動向    |
| 研究開発内容及び方法     |
| 研究開発成果の今後の展開   |

◆ **記載要領 (様式 2)**

**研究開発テーマの詳細：**

- (1) **研究開発テーマの背景及び目的**：研究開発の必要性、波及性などにも触れて記載してください。
- (2) **関連する研究分野の動向**：提案者自身が把握している関連研究分野の動向と、その中での本研究開発テーマの位置づけに触れて記載してください。
- (3) **研究開発内容及び方法**：独創性、革新性などにも触れ、具体的な研究手法を記載してください。
- (4) **研究開発成果の今後の展開**：研究成果が将来どのように活用される可能性があるか、今後想定される共同研究などを含めて記載してください。また、北海道における新産業・スタートアップの創出や、地域課題の解決にどのように貢献するかに触れて記載してください。

※様式2全体で、2枚以内で記載してください。

( 様式3 )

【 研究者の詳細 】

|                                      |     |            |        |        |  |
|--------------------------------------|-----|------------|--------|--------|--|
| (フリガナ)<br>氏 名                        |     | 所属機関名      |        | 役職名    |  |
| 所属住所                                 |     |            |        | 所属電話番号 |  |
| 〒                                    |     |            |        | ( )    |  |
| 生年月日                                 |     | 年 月 日 ( 歳) |        |        |  |
| 略<br>歴                               | 年 月 |            | (最終学歴) |        |  |
|                                      | 年 月 |            |        |        |  |
|                                      | 年 月 |            |        |        |  |
|                                      | 年 月 |            | 現在に至る  |        |  |
| 所属学会 (役職名)                           |     |            |        |        |  |
| 主たる研究・技術開発分野                         |     |            |        |        |  |
| 研究・技術開発キーワード                         |     |            |        |        |  |
| 過去の研究・技術開発実績 (著書、研究論文、特許等)           |     |            |        |        |  |
| 過去の補助実績                              |     |            |        |        |  |
| 【博士後期課程の学生の応募の場合】<br>指導教員 (所属・役職・氏名) |     |            |        |        |  |

◆ 記載要領 (様式3)

研究者の詳細：

- (1) 氏 名： フリガナは必ずふってください。
- (2) 生年月日 (年齢)： 西暦で記載してください。
- (3) 所属機関名／役職名： 所属機関名には所属部署まで記載してください。
- (4) 略 歴： 最終学歴、主な職歴等を記載してください。
- (5) 所属学会 (役職名)： 主なものを3つまで記載してください。役職に就かれている場合はカッコ書きでその役職名を記載してください。
- (6) 研究・技術開発キーワード： 主なものを3つまで記載してください。
- (7) 過去の研究・技術開発実績： 代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略してください。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合は、その内容を記載してください。
- (8) 過去の補助実績： 過去3年間において国・自治体・その他補助機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁、自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。
- (9) 博士後期課程の学生の場合は、応募について了承を得ている指導教員の所属、役職、氏名を記載してください。

( 様式4 )

【 研究開発費の内訳 】

( 単位 : 円 )

| 経費区分           | 研究開発費<br>(補助申請額のみ) | 積算内訳<br>(単価・数量・使用目的等) |
|----------------|--------------------|-----------------------|
| 原材料・<br>消耗品購入費 |                    |                       |
| 機器装置費          |                    |                       |
| 旅 費            |                    |                       |
| その他経費          |                    |                       |
| 合 計            |                    |                       |

◆ 記載要領 (様式4)

1. 積算内訳: 研究開発費総額に対し、支出科目ごとに単価・数量・使用目的等を具体的に記載してください (書ききれない場合は、別紙としてください)。

( 様式5 )

【その他】

◆ 記載要領 ( 様式 5 )

その他： フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください（ただし、1～2枚程度とします）。

- 例：
- ◆ 研究内容を図示するなどして、理解の助けとする。
  - ◆ 現在までの自己又は他の研究者の類似研究と、その相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、独自性を明らかにする。
  - ◆ 指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載するなど。

【その他注意事項】

- (1) 提案者が、既に他の助成を受けており、100%専念する義務がある場合は応募できません。
- (2) 各様式とも手書き、切り貼りしたものは受け付けできません。
- (3) 同一の研究者が今回の公募で、タレント補助金に応募できる申し込みは1件に限ります。

## ★迷いやすいポイントをまとめた Q&A

### Q1. どのような研究者が応募できますか？

A1. 北海道内に事業拠点を有する企業もしくは、大学・公設試験研究機関等に所属する研究者単独での申請となります。大学等研究機関の場合、ポストク以上（博士研究員・助教・講師等）を対象とし、基本的に学生は不可とします。

ただし、博士後期課程の学生については、以下のすべてを満たす場合に限り、申請を可能とします。

- ・ 補助金に係る経理事務を、所属機関の事務局に委任できること
- ・ 応募について、指導教員等の了承を得ていること
- ・ 博士課程修了後も申請研究を継続して実施する意思を有する、又は当該申請研究に基づき将来的に起業を予定していること

### Q2. 北海道に事業拠点を有するが、実質的な活動拠点は北海道外の者が研究代表者になっても良いか？

A2. 北海道の産学官連携の基盤形成を推進することを目的とした補助金であるため、対象外とさせていただきます。

### Q3. 研究代表者が複数の申請をすることは可能ですか？

A3. 同一の研究代表者・共同研究グループによる研究開発助成事業への申請は1件に限られます。ただし、タレント補助金と、タレント補助金以外の申請を希望する場合、申請テーマが別で、かつ研究グループも別の場合に限り申請可能とします。なお、研究代表者が他のグループの共同研究者として参画することは可能です（詳細については、各補助金の応募要件をご確認ください）。

### Q4. 北海道外の企業や研究者は参加できますか？

A4. 当該補助金については、参加ができません。